

卒業生アンケート結果報告

36

在学生アンケートにご協力ください

39

教員採用試験に関するアンケート調査

Webアンケート募集中!

レポート・スクーリング・科目終了試験・ピアノなどについて
様々な声をお聞かせください

アンケート 聖徳大学通信

検索



※携帯電話では一部の機種によって表示されない場合があります。





卒業生アンケート結果報告

回答人数88人/101人(回答率87%)
(一部未回答あり)

今年度9月に卒業した大学、短大のみなさんを対象にアンケートを行いました。日頃の学習時間や、普段の学習場所、スクーリング時の宿泊場所、職場や家族の協力等についてお答えいただきました。

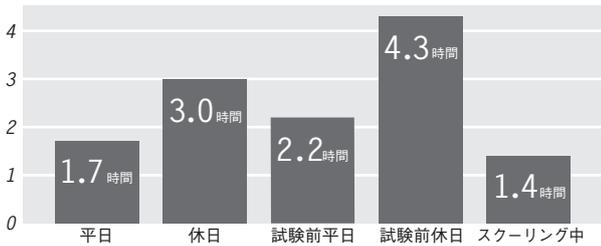
本誌ではその一部をご紹介します。同じ通信教育に取り組んでいた方々の学習状況を、参考にしてみてください。



学習時間について

毎日習慣的に学習をされる方が多いようです。試験の予定がない平日は1時間から2時間が最多で、スクーリング中の平均は1.4時間でした。

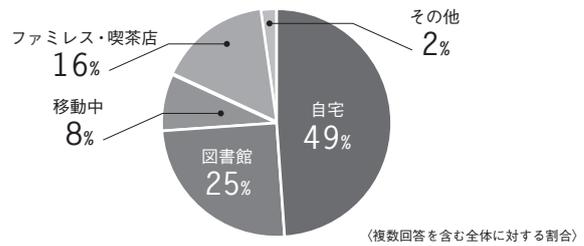
日常生活とのバランスを考慮した上の、効率的な学習が理想といえるでしょう。



学習場所について

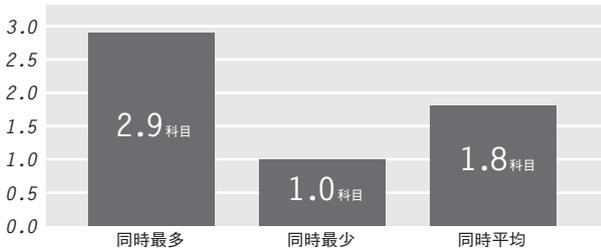
自宅、図書館、店(喫茶店等)、移動中、その他の5ヶ所で割合を教えてくださいました。

自宅が占める割合はほぼ半数で、図書館が25%、移動中が8%、喫茶店等が16%程度でした。家を中心に時間によって使い分ける方も多いようです。



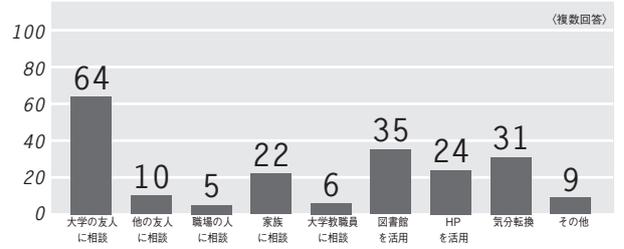
同時進行は何科目？

どのくらいの科目数を同時に学習していましたか？という質問をしました。「最多」ではスクーリングにあわせて集中的に取り組む方が多く、少なくとも1科目は進めているという方がほとんどでした。同時に進め、目標に近づくことが卒業への第一歩です。



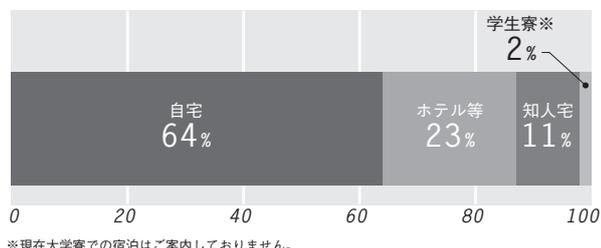
学習に行き詰まったときは？

普段学習で行き詰まったときはどのように解決していますか？という問いにほとんどの人がまわりの人に相談すると答えました。その他、図書館やインターネットを利用して解決の糸口を探す方や、一時的に別のことをして気分転換をするなどさまざまな方法で乗り越えていたようです。



スクーリング時の宿泊場所

スクーリングは、松戸の立地が都内からも近いという理由で、自宅から通うという方が64%。宿泊施設に泊まることで、気分転換とやる気につながるという声も多く聞かれました。



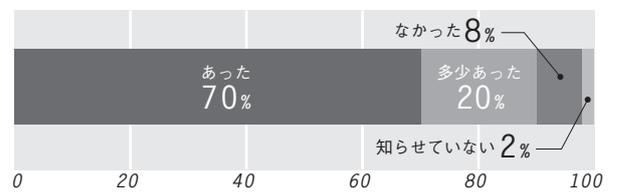
卒業生の声 職場や家族の協力は？

●子供がまだ小さかったのでスクーリング中、預ける所にごく困ったが、家族や、友人の協力があり、クリアできた。

英米文化学科 30代 女性(神奈川県在住)

●試験の前は、主人が子ども達と出かけてくれ、勉強に集中できた。

保育科 30代 女性(埼玉県在住)



通信での学習はマラソンの様でした。35kmまでは楽しかったのですが残りはきつかったです。ラストの2科目、試験会場では「自分を信じる」と何度も心で唱え、何とか合格できました。

日本文化学科 女性(神奈川県在住)

合格しにくい科目については、仲間からのアドバイスは非常に頼りになりました。やはり、スクーリングなどで仲間を作ることは大切です。仲間と乗り越えて頑張りたいと思います。

社会福祉学科 女性(東京都在住)

入学時はどこから始めれば良いかわからないことがあります。スクーリングで友人を作り、意見交換をすると良いですよ。それから、目標を決めてスケジュールを立てて取り組むこと！！

児童学科 女性(東京都在住)

どうしても合格に至らないレポートがあり、何をどう書いたらよいのかもわからないと思う課題がありました。再提出が重なると時間も足りなくなります。そのため私は活用できませんでしたが、このような時こそ質問票を活用すると良いと思いました。

日本文化学科 女性(千葉県在住)

仕事をしながらの学習なので大変でしたが、毎日のリズムをつくることで、学習を継続できたと思います。

社会福祉学科 女性(青森県在住)

試験に何度も落ちた時は、あきらめずに、過去の問題を覚えておき、傾向と対策を練ることが大切です。

心理学科 女性(東京都在住)

レポートが、進まず苦労しました。仕事中は、集中できないので、休日に、集中して、仕上げました。

心理学科 女性(岩手県在住)

自分の取り組みやすい科目から始めるなどの方法をとることで、試験勉強は適度に深呼吸し、体をほぐして休憩をとることがとても大切です。そうすることでまた、集中力が戻ってきます。

保育科 女性(神奈川県在住)

興味があまりない、自分の苦手とする科目を後まわしにすると後半、とても大変になる。そうなったとしてもそう進めてしまったのは自分自身なので、あきらめずに取り組むしかありませんでした。計画性があり、それを守ろうとする意志が強い人は、卒業が早いのではないかと思います。聖徳でできた友達の力はとても大きく、何度もはげましてもらったり、相談にのってもらいました。

保育科 女性(宮城県在住)

私自身もそうでしたが入学当初は、何をしたらよいのか全くわからず最初の1年間は無駄な時間を過ごしてしまったように思います。本当は、すぐにでも学習を始めるべきだとは思いますが、スクーリングで仲間を見つけ、そこでアドバイスをもらったり励ましあったりすると刺激にもなり、少しずつ、前へ進めるのではないかと思います。通信学習を根気よく続けるためには、励ましあえる仲間は本当に大切だと思います。

保育科 女性(青森県在住)

行き詰って“辞めたい”と思うかもしれませんが、この努力で人は強くなれると思います。努力してきた自分は他の困難に直面しても決して折れない心で乗り越えることができると思います。通信生は全て自分で行うことばかり。自分自身強くなったし、責任感・自主性・協調性・向上心・積極性等養えたと思います。

保育科 女性(神奈川県在住)

苦手意識の強い科目(私の場合は、倫理・憲法など)を後回しにしてしまったため、卒業間際に苦労しました。日々の生活に追われ、気づけば、2、3ヶ月何もしてなかった事がありました。そのため、リビングの自分の定位置からよく見える所にピアノ、パソコン、レポート資料などを置き、常に意識できるよう、そして、すぎ間時間に少ないアクションで何かできるように環境を整えました。レポート、試験の申込み、提出期限をカレンダーや手帳に書いて、送付忘れを防ぎました。住所を印刷した封筒や、バーコードを切っておくなどの準備をしておくことで、気づいた時に、すぐ出せます。色々な方と話をし、色々な刺激を受け、「やる気」が枯れないようにしました。

保育科 女性(東京都在住)

間を空けてガラガラやると結局進まずまた0からやることになってしまいました。やる時は期間、科目数などを決めて集中的にやった方が良いと思います。

保育科 女性(神奈川県在住)



卒業生アンケート結果報告



卒業を迎えた感想&在学生へのメッセージ

無理すぎると体調をくずし、余計時間がなくなってしまっているので、コツコツと無理すぎないようにがんばってください。

児童学科 女性(千葉県在住)

あきらめずに目標達成まで続けることが大切です。

児童学科 女性(福島県在住)

スクーリングに出席して、相談したり、ヒントを得たり。何よりも他の人たちの頑張る姿に接して、刺激を受けました。共に頑張る仲間が、一番のエネルギーになりました。みなさん、ありがとう!!

心理学科 女性(岩手県在住)

自分の関心のある分野で知りたかったことをたくさん教えていただき、ただただ感謝の気持ちでいっぱいでした。メッセージとしては、笑顔を忘れずチャレンジしてください。きっと上手くいきます。

社会福祉学科 女性(神奈川県在住)

時間がかかっても、コツコツ努力すれば、いつかはゴールにたどり着きます。諦めずに最後まで頑張ってください。

英米文化学科 女性(東京都在住)

通信生は独学で勉強をしなくてはならないので、自分との戦いだと思います。大変なことは沢山あるけど、友達と情報交換をしたり、毎日コツコツと勉強をすれば必ず結果がついてきてくれると思うので頑張ってください。

保育科 女性(神奈川県在住)

辛くて大変だけど、そこを踏んばって頑張ってください!!辛かった分、卒業が決まった時は、辛さの何百倍もの喜びを味わえます。

保育科 女性(北海道在住)

レポート、試験、スクーリング、ピアノ、実習...とやる事がたくさんあり、始めのうちは先が見えないと思いますが、少しずつ少しずつ見えてきます!そして卒業を迎える今は本当に頑張ってきて良かったと思えます。頑張ってください。

保育科 女性(東京都在住)

在学期間が長くなっても、続けていれば、必ずゴールは見えてくるので、辛くても少しずつでも、一步一步進みながら、前へ。

保育科 女性(宮城県在住)

3歩すすんで2歩下がることがあったとしても、あきらめなければ、必ずゴールが待ってます。

保育科 女性(東京都在住)

「継続は力なり」なるべく間をあけず、突き進んでください。

保育科 女性(埼玉県在住)

続けていれば必ず卒業できます。子ども達の笑顔を思い浮かべながら日々学習を積んでください。

保育科 女性(新潟県在住)

入学したての頃は、学習の始め方がわからず、何にもしない日々でした。初めてのスクーリングで、友達が出来色々教えてもらい、1年目の秋からやっとレポート開始。レポートが落ちた時には、友達に相談したり、お互いに励まし合いながら行いました。挫折しそうにもなったけど、沢山の素敵な友達が居たから頑張れました。試験が落ちた時は、どこが悪くて落ちたのかわからず、納得がいかない時は質問票で質問したりもしました。わからない!不安!と感じた時は、やはり直接先生方に質問するのが1番の解決法だと思います。友達を1人でも多くつくること、苦しくて辛い時は1度勉強から離れてリラックスすること、保育士・幼稚園の先生になりたい!という気持ちがあれば絶対!がんばれます!

保育科 女性(北海道在住)

計画性なく進めてしまったので7年かけての卒業です。仕事との両立で、毎日の学習はできなかったです。限られた時間で1つの項目だけでも読んでおこうという時間を10分でも作り、レポートを作っていました。負担に感じる事も多く、約3年は全く手をつけずに過ごしてしまいましたが、自ら調べて書くレポートは自信にもつながりました。大変ですが乗り越えたら達成感が待っていますよ。

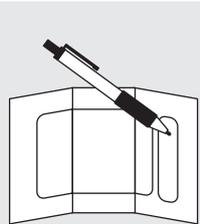
保育科 女性(千葉県在住)

通信教育は自分との戦いでもあります。頑張れば進歩し、手を抜けば進歩しません。

保育科 女性(新潟県在住)

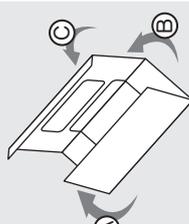
アンケートの郵送手順

1



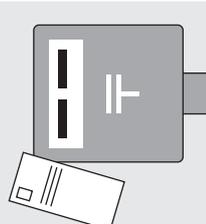
本誌から切取り
アンケートを
ご記入ください。

2



のりを塗り、
④③②の順番で
折り込んで
ください。

3



切手を貼らずに
ポストに投函
してください。

FAXでも受付けています

アンケートは郵送だけでなく、FAXでも受付けています。
下記番号までお送りください。

聖徳大学 通信教育学務課

FAX047-331-7422

ヤマ折り

②ヨリ

ヤマ折り

271-8750

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学5号館2階

聖徳大学 通信教育学務課
聖徳通信アンケート係行



料金受取人払郵便

松戸支店承認

1030

差出有効期限
平成26年2月
25日まで
(切手不要)

ヤマ折り

この部分を折って封をしください。